

第 2 期飛島村地方版総合戦略 評価結果

令和 7 年 7 月

飛 島 村

○総合戦略（まち・ひと・しごと創生法）

我が国における急速な少子高齢化に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度な集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことを目的として、まち・ひと・しごと創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施するために策定する計画のことをいいます。地方も国の計画に基づいて策定しています。

○デジタル田園都市国家構想総合戦略の策定

国は、令和4年12月に、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定しました。

デジタルの力を活用して地方創生を加速化、深化し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指しています。

また、東京圏への過度な一極集中の是正や多極化を図り、地方の社会課題を成長の原動力とし、地方から全国へとボトムアップの成長につなげていくとしています。

これを受け地方は、策定された国の新総合戦略に基づき、目指すべき地方像を再構築し、地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂に努め、具体的な地方活性化の取り組みを推進することとされています。

本村においては、第5次飛島村総合計画の策定プロセスのなかでデジタル田園都市国家構想総合戦略の策定がなされたことから、国や県の実情もふまえながら、柔軟に取り組みを進めていくこととしました。

1. 飛島村の人口の現状

第5次飛島村総合計画における人口指標は、新たな飛島村人口ビジョンをふまえて、2032年度末に4,800人程度を目指すこととしています。

国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）による「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」では、本村の令和7年の人口推計は4,595人であり、令和2年の国勢調査（4,575人）と比較して、わずかながら上昇するものと見込まれています。

出生と死亡に関する「自然動態」は、いずれの年においても死亡者数が出生者数を上回っており、今後もこの傾向は続くと考えられます。

また、令和7年6月1日付け住民基本台帳の人口4,693人に占める65歳以上の人口（高齢化率）は、29.9%となっています。

一方、転入と転出に関する「社会動態」では、転入が転出を上回る年が多くなっています。主な要因として、渚地区における住宅開発により、転入者が増加したものと、外国人の短期技能実習生の増加によるものと考えられますが、外国人については、受け入れ企業の状況等により転出入数に大きな振れ幅があり予測が難しい側面もあります。

こういった状況を注視しながら、さらに直近の令和7年6月1日付け住民基本台帳の人口4,693人という状況をふまえながら、着実な施策の推進とともに、住民の幸せを実現するための取り組みが必要となります。

年 次	自然動態			社会動態			4/1 人 口	うち 外国人
	出生	死亡	比較	転入	転出	比較		
2015年度 (平成27年度)	49	64	▲15	169	184	▲15	4,599	181
2016年度 (平成28年度)	22	71	▲49	252	152	100	4,587	240
2017年度 (平成29年度)	26	68	▲42	273	133	140	4,604	301
2018年度 (平成30年度)	39	47	▲8	259	178	81	4,683	351
2019年度 (令和元年度)	28	52	▲24	264	213	51	4,791	397
2020年度 (令和2年度)	33	59	▲26	182	161	21	4,794	406
2021年度 (令和3年度)	24	58	▲34	105	187	▲32	4,686	326
2022年度 (令和4年度)	18	78	▲60	283	240	43	4,660	310
2023年度 (令和5年度)	21	83	▲62	325	210	115	4,638	384
2024年度 (令和6年度)	18	76	▲58	278	206	72	4,683	449
2025年度 (令和7年度)	2	6	▲4	62	50	12	4,690	509

※令和7年度の自然動態・社会動態の数値は6月1日付けの数値

※異動は自然・社会動態の他、外国人の職権消除等のため、人口と動態は一致していない。

2. 評価検証について

第5次飛島村総合計画に示している「4つの基本政策」に基づき、重点施策としての4つの方向性を示しています（「0. 災害に強いむらを実現する」「1. 活気のあるむらを実現する」「2. 魅力のあるむらを実現する」「3. 人が輝くむらを実現する」）。また、総合戦略の内容については、総合計画「実施計画」とも整合を図ることにより、その進捗管理を簡便かつ持続可能なものとしています。

さらに、総合戦略における重要業績評価指標〔KPI〕については、実施計画においても把握し、毎年度の評価検証を図れるように工夫しています。

<計画の評価と推進方法について>

○「数値目標」とは

「数値目標」とは、総合戦略における「0. 災害に強いむらを実現する」「1. 活気のあるむらを実現する」「2. 魅力のあるむらを実現する」「3. 人が輝くむらを実現する」という4つの方向性の実施状況や、その成果を検証できるように設定する指標・目標値であり、住民アンケート等における満足度を基本とし、計画最終年度（令和9年度）における目標値を設定しました。よって、最終年度の策定時に実施するアンケートによって、その進捗が測られることとなります。

○「重要業績評価指標（KPI）」とは

「重要業績評価指標（KPI）」とは、4つの分野別計画で位置づけた、基本目標を達成するために実施する「施策」が適切に推進できているか、施策の効果を客観的に検証するための評価指標（重要業績評価指標：KPI）であり、数値目標が計画の終了後に評価・検証するのに対して、重要業績評価指標（KPI）は、施策の進捗を検証するため、毎年、評価・検証を行います。

そのため、施策の進捗状況に応じて、施策とその重要業績評価指標（KPI）は、毎年見直しを行います。

<計画指標の達成状況について>

区 分	概 要	計画指標の 項目数 (%)
A	達成した	28 (68.3%)
B	一部達成した	12 (29.3%)
C	達成していない	1 (2.4%)

0. 災害に強いむらを実現する

【重要業績評価指数 [KPI]】

重点分野 (担当課)	重要業績評価指標・KPI	R6 年度 目標値	R6 年度 実績値	R9 年度 目標値	評価
1－① 防災基盤を強化する (開発部建設課)	堤防および排水施設の 強化に向けた国・県等へ の要望活動の継続	継続	継続	継続	A
1－② 防災基盤を強化する (開発部経済課)	排水施設の維持管理に 向けた土地改良区への 補助金	継続	継続	継続	A
2－① 防災設備を強化する (総務部総務課)	避難所案内看板の設置 数	累計 15 カ所	累計 15 カ所	累計 23 カ所	A
3－① 避難訓練の実施・防 災組織の強化 (総務部総務課)	地域が一丸となった実 践的防災訓練の実施	年 1 回	年 1 回	年 1 回	A

1. 活気のあるむらを実現する

【重要業績評価指数 [KPI]】

重点分野 (担当課)	重要業績評価指標・KPI	R6 年度 目標値	R6 年度 実績値	R9 年度 目標値	評価
1－① 農業・水産業を振興 する(開発部経済課)	排水施設の維持管理に 向けた土地改良区への 補助金	継続	継続	継続	A
1－② 農業・水産業を振興 する(開発部経済課)	担い手への農地の利用 集積面積	290ha	296ha	360ha	A

重点分野 (担当課)	重要業績評価指標・KPI	R6 年度 目標値	R6 年度 実績値	R9 年度 目標値	評価
1－③ 農業・水産業を振興 する（開発部経済課）	農地パトロールの継続	年2回	年2回	年2回	A
1－④ 農業・水産業を振興 する（開発部経済課）	産直市の年間売上金額	4,000 千円	4,575 千円	4,600 千円	A
1－⑤ 農業・水産業を振興 する（開発部経済課）	農政懇談会の開催	継続	継続	継続	A
2－① 商業を拡充する （開発部経済課）	村内の既存店が住民向け に展開する宅配サービス 等に対する補助制度	・商工会と の打合せ ・既存店への ニーズ調査 ・関係課と の打合せ	・商工会と の打合せ ・既存店への ニーズ調査	整備済	B
2－② 商業を拡充する （開発部経済課）	住民ニーズに応じた既存 店における多様な業 種展開への補助制度	・既存店の業 種展開意向確認 ・商工会と の打合せ	・既存店の業 種展開意向確認 ・商工会と の打合せ	整備済	B
3－① さらなる工業の振興 を進める （総務部企画課）	名古屋港西部臨海地帯 企業連絡協議会担当者 意見交換会の回数	年4回	年3回	年6回	B
4－① 公園緑地の充実を図 る（開発部建設課）	総合的な公園の整備	・整備方針 案の作成 ・整備方針 の決定	・整備方針 案の作成	整備済	B
5－① 観光交流・プロモー ションを推進する （総務部企画課）	工場見学を含む観光ル ートの整備	・工場見学を 含むクルーズ事 業を商品化	・工場見学を 含むクルーズの 商品化に向けた 協議開始	整備済	B
5－② 観光交流・プロモー ションを推進する （①開発部整備推進課） （②総務部企画課）	観光交流拠点の整備 （①、②ともに）	①基本計画 策定、手法 選定調査	①基本計画 策定、手法 選定調査	整備中	A
		②事例研究	②整備検討 への協力		B

重点分野 (担当課)	重要業績評価指標・KPI	R6 年度 目標値	R6 年度 実績値	R9 年度 目標値	評価
5-③ 観光交流・プロモーションを推進する (総務部企画課)	観光交流協会の 組織強化	・法人化に 向けた課題 整理	・法人化に 向けた課題 整理	改編中	A
5-④ 観光交流・プロモーションを推進する (総務部企画課)	トビシマクルーズの 来場者数	・クルーズ 商品の広報 ・鉄道、旅行 会社との連携 ・700 人	・JR 東海と の連携 ・432 人	年1,000 人	B

2. 魅力のあるむらを実現する

【重要業績評価指数 [KPI]】

重点分野 (担当課)	重要業績評価指標・KPI	R6 年度 目標値	R6 年度 実績値	R9 年度 目標値	評価
1-① 健康長寿社会を実現 する(民生部住民課)	特定健診受診率	・定期的な 受信勧奨 (広報等) ・55.5%	・定期的な 受信勧奨 (広報等) ・53.9%	60%	B
1-② 健康長寿社会を実現 する(民生部敬老セ ンター)	トビリハシステムの 継続的な実施	・前年度計 画に基づく 事業実施 ・事業評価 ・改善案の 検討 ・改善後の 次年度計画 作成	・前年度計 画に基づく 事業実施 ・事業評価 ・改善案の 検討 ・改善後の 次年度計画 作成	継続	A
2-① 社会福祉を向上させ る(民生部福祉課)	くらしのおたすけ隊の 活動回数	令和5年度 実績(287 回・広報年 1回)の水 準を維持	・広報 年1回 ・活動回数 267回	年250回	B
3-① 高齢者福祉を向上させ る(民生部敬老センター)	高齢就労者数(シルバー 人材センター登録者数)	・広報 年1回 ・94人	・広報 年1回 ・90人	100人	B

重点分野 (担当課)	重要業績評価指標・KPI	R6 年度 目標値	R6 年度 実績値	R9 年度 目標値	評価
4－① 障がい者福祉を向上させる (①民生部福祉課) (②総務部企画課、 開発部整備推進課)	ふれあいの郷における 障がい児者の就労機会 の場の確保 (①、②ともに)	①観光交流拠点と障がい者等の関わり方の検討	①方針を踏まえ検討に至らず	1カ所	C
		②観光交流拠点と障がい者等の関わり方の検討	②基本構想、基本計画で障がい者等の関わりを定めた		A
5－① 効果的な土地利用を進める（開発部整備推進課）	新規住宅地分譲数	・実施設計 ・関係機関協議 ・地区計画策定の法定手続 ・公有財産の財務上の処理	・実施設計 ・関係機関協議 ・地区計画策定の法定手続 ・公有財産の財務上の処理	20区画	A
6－① 居住環境を向上させる (民生部保健環境課)	村内一斉清掃活動の回数	年2回	年2回	年2回	A
6－② 居住環境を向上させる (総務部総務課)	防犯カメラの新規設置数	累計 83台	累計 83台	累計 80台	A
7－① 道路整備を推進する (開発部建設課)	ゾーン 30 プラスの導入	・地区との合意形成 ・対策内容の検討 ・蟹江警察署との継続的な協議	・地区との合意形成 ・対策内容の検討 ・蟹江警察署との継続的な協議	導入済	A
8－① 交通手段を充実する (総務部企画課)	公共交通のサービス水準に対する住民満足度	・交通計画上の目標値達成 ・アンケート調査実施	・交通計画上の目標値達成 ・アンケート調査実施	25%	A
8－② 交通手段を充実する (①総務部企画課) (②③民生部福祉課) (④民生部保健環境課)	タクシー助成 (①～④ともに)	①継続実施 ・改善案の検討	①継続実施 ・改善案の検討	拡充継続	A
		②③継続実施	②③継続実施		
		④継続実施 ・改善案の検討	④継続実施 ・改善案の検討		

重点分野 (担当課)	重要業績評価指標・KPI	R6 年度 目標値	R6 年度 実績値	R9 年度 目標値	評価
9－① 環境問題に取り組む (①総務部総務課) (②民生部保健環境課)	環境対応車の導入 (①、②ともに)	・導入車両 の検討 ・課題整理 ・予算措置 ・導入方針 決定	・導入検討 を行った が、導入を 見送ることを 決定	導入の 見送り 【R6 決定】	B
		資料収集等	資料収集等	導入	A
9－② 環境問題に取り組む (民生部保健環境課)	資源ごみ（ペットボトル など）回収拠点数	・北部エコプ ラザ整備工事 ・南部エコプ ラザ実施設計 ・工事費予算 措置（南部）	・北部エコプ ラザ整備工事 ・南部エコプ ラザ実施設計 ・工事費予算 措置（南部）	2カ所	A

3. 人が輝くむらを実現する

【重要業績評価指数 [KPI]】

重点分野 (担当課)	重要業績評価指標・KPI	R6 年度 目標値	R6 年度 実績値	R9 年度 目標値	評価
1－① 子育て支援を充実さ せる（民生部住民課）	子育て世代への育児奨 励金や就学祝金の継続	・新生児祝金 ・育児奨励金 ・就学祝金	・新生児祝金 ・育児奨励金 ・就学祝金	拡充 継続	A
1－② 子育て支援を充実さ せる（民生部保健環 境課）	不妊治療への助成継続	・次年度予 算措置 ・事業継続 ・他自治体の 事例研究等	・次年度予 算措置 ・事業継続 ・他自治体の 事例研究等	継続	A
2－① 学校教育を充実させる (教育委員会教育課)	減農薬野菜を使用した 給食の回数	年8回	年8回	年10回	A
2－② 学校教育を充実させる (教育委員会教育課)	給食費の無償化	・前期課程 および後期 課程ともに 給食費無償 化の実施	・前期課程 および後期 課程ともに 給食費無償 化の実施	実施済	A

重点分野 (担当課)	重要業績評価指標・KPI	R6 年度 目標値	R6 年度 実績値	R9 年度 目標値	評価
2－③ 学校教育を充実させる (教育委員会教育課)	学習者用デジタル教科 書の利用促進	・次期 ICT 機器活用方 針決定 ・予算措置 ・活用計画 の策定	・次期 ICT 機器活用方 針決定 ・予算措置 ・活用計画 の策定	継続	A
2－④ 学校教育を充実させる (教育委員会教育課)	地域や地元企業と飛島 学園の連携授業の実施	・学園との 協議 ・連携の実 施 ・広報 ・改善点の 検討	・学園との 協議 ・連携の実 施 ・広報 ・改善点の 検討 ・コミュニ ティ・スク ールの設置	継続	A
3－① 生涯学習・生涯スポ ーツを充実させる (教育委員会生涯教育課)	村内イベントの 参加者数	年 5,000 人	年 5,700 人	年 5,000 人	A
3－② 生涯学習・生涯スポ ーツを充実させる (教育委員会生涯教育課)	英語教室の参加者数	・教室開催 ・参加者の意 見聴取、改善 点の検討 ・改善計画の 策定 ・年 85 人	・教室開催 ・参加者の意 見聴取、改善 点の検討 ・改善計画の 策定 ・年 58 人	年 100 人	B